

Library News



京教図書館 News

2009
8

今月のトピック

- 私のすすめるこの1冊
 今月は、美術科の小林良子先生に『人は成熟するにつれて若くなる』(ヘルマン・ヘッセ著)をご紹介します！
- 京都教育大学学術情報リポジトリについて
- 図書館からのお知らせ
 インフルエンザの予防について
 夏期休業に伴う長期貸出について



※今月の「論のくちび理のむすび」はお休みさせていただきます。
 来月号をお楽しみに！

<図書館開館スケジュール>

☆夏期休業に伴い通常期間とは開館スケジュールが変わります。ご注意ください☆

- ・ 8月6日(木)から8月31(月)までの平日は短縮開館します(下記カレンダーには「～17:00」と表示)
- ・ 8月12日(水)から14日(金)は夏季一斉休業のため休館します。

8

日	SUN	月	MON	火	TUE	水	WED	木	THU	金	FRI	土	SAT
												1	
													～17:00
2		3		4		5		6		7		8	
休館								～17:00		～17:00		休館	
9		10		11		12		13		14		15	
休館		～17:00		～17:00		休館		休館		休館		休館	
16		17		18		19		20		21		22	
休館		～17:00		～17:00		～17:00		～17:00		～17:00		休館	
23		24		25		26		27		28		29	
休館		～17:00		～17:00		～17:00		～17:00		～17:00		休館	
30		31											
休館		～17:00											

9

日	SUN	月	MON	火	TUE	水	WED	木	THU	金	FRI	土	SAT
				1		2	整	3		4		5	
						休館						～17:00	
6		7		8		9		10		11		12	
休館												～17:00	
13		14		15		16		17		18		19	
休館												～17:00	
20		21		22		23		24		25		26	
休館		休館		休館		休館						～17:00	
27		28		29		30							
休館													

<通常開館> 平日 9:00～21:00
 土曜 9:00～17:00
 日曜 閉館

<短縮開館> 平日 9:00～17:00
 土曜 閉館
 日曜 閉館

私のすすめるこの1冊

小林良子(美術科 講師)

『人は成熟するにつれて若くなる』 ヘルマン・ヘッセ著

私は、いつも1冊の書物から始まって芋づる式に読書するのが好きだ。つい最近も、永井荷風の『ふらんす物語』から『断腸亭日乗』(上)、(下)、『腕くらべ』、『濃東綺譚』、『つゆのあとさき』、『荷風随筆集』、『すみだ川・ふたり妻』、『あめりか物語』と読み進んできた。このなかでどれか一冊を選ぶことは出来ない。すべてが重なり合っているように思われるからだ。荷風がまだ青年のころに書かれた『あめりか物語』も薦めたいが、『断腸亭日乗』(下)の亡くなる数日前の日記「四月二十七日。陰。また雨。小林来る。」「四月二十八日。晴。小林来る。」「四月二十九日。祭日。陰。」も妙に心を打つ。

前置きがいささか長くなったが、この四月に私自身が60歳になったこともあり、あえて「この1冊」というのをあげなければならないとなれば、ヘルマン・ヘッセの『人は成熟するにつれて若くなる』をあげたい。文章のなかに、さまざまなヘッセの写真(手紙を読むヘッセ、散歩をするヘッセ、トマトを摘むヘッセ、孫のダーフィットとヘッセ、庭での焚き火、)や挿絵等が何枚も挿入されている。

字数がかぎられているので多くは紹介できないが、そのなかの一つを引用する。

忠告

愛する少年よ 多かれ少なかれ

人間のことはみんな結局まやかしのだ。

比較的について 私たちがいちばん正直なのは

おむつに包まれているとき そして墓の中だ

墓に入れば祖先のそばに横たわり

ついに賢くなり 冷たい明澄さにみたされ

むきだしの骨でカタカタと真理を語る

それでも嘘をつき 生き返りたがる者が少なくない

ヘッセの「老い」と「死」をめぐるエッセイ、詩がちりばめられた本である。ヘッセは1877年に生まれ1962年85歳という高齢に達するまで独特の方法で人生の体験を描写することが出来た。しかし、おどろくことに42歳のときから「老い」を意識した作風になっている。前述の永井荷風も自分を老人として見立てている。「断腸亭日乗」を起筆した37歳に荷風は「されど予は一たび先考の蕉邸をわが終焉の處にせむと思ひ定めてよりは、また他に移居する心なく、來青閣に隠れ住みて先考遺愛の書画を友として余生を送らむことをこいねがふのみ」とある。

ヘルマン・ヘッセのこの1冊は老人にだけではなく若者にもプレゼントしたくなる本である。

京都教育大学機関リポジトリ「クエリの森」 平成21年10月より、世界に向けて発信します！！

★機関リポジトリって何？

機関リポジトリとは、大学等の学術機関で生産された知的成果物を電子的・永続的に蓄積し、インターネットを通じて無償で発信するシステムのことです。

★「クエリの森」ってどういう意味？

「クエリ」は、京都教育大学のリポジトリ“Kyoto University of Education Repository”の頭文字を取って名付けました。ちなみに、データベース用語の“query”（データベースに対する問い合わせを文字列として表したのもの）とはスペルが異なりますのでご注意ください！

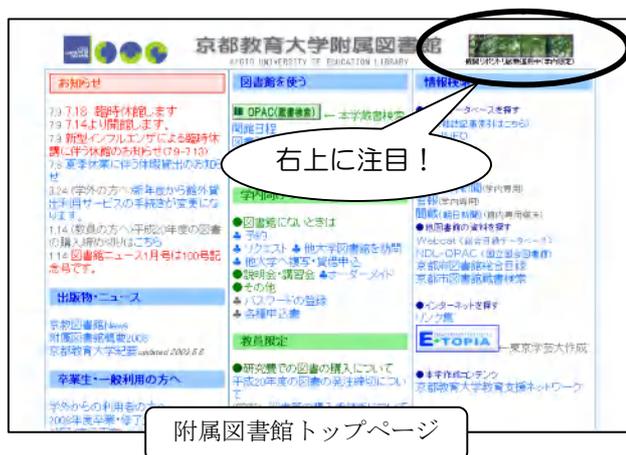
「森」は、本学の所在地・藤森から来ています。また、豊かな資源の貯蔵庫である「森」のイメージが、まさに京都教育大学の豊かな研究成果データベースを表してもいます。

★どんなメリットがあるの？

- ◎教育研究成果を電子的に一元化して蓄積することにより、永続的な保存・公開をすることができます。
- ◎(学生にとっては)先生方の論文等を無料でいつでもどこでも読むことができます！
- ◎(先生にとっては)自分の論文等をキープする場所ができ、またそれをいつでもどこでも読むことができます！
- ◎大学として特色をアピールすることができ、社会に対して還元・貢献・説明責任を遂行することができます。

★どうやって見るの？

2009年3月より、学内のインターネット環境からのみログインできる試験公開を行っています。附属図書館のトップページからリンクしていますので、ぜひご覧下さい。(IPCのパスワードが必要です)



◆コンテンツの収集・登録について◆

平成21年度は、学内出版物（大学紀要、各センター年報、科研費報告書、その他プロジェクト等報告書類）を中心にリポジトリへの搭載を進めていきます。先生方には公開に際しご協力をいただきますのでよろしくお願い致します。

クエリの森は、2009年10月より本公開を開始します。

図書館からのお知らせ

1. 手洗い消毒をしましょう！

新型インフルエンザが学内で流行しています。図書館入り口に消毒用エタノールを設置していますので、入退館の際には手を消毒しましょう。ちょっとした心がけで未然に流行を防げます。

2. 夏季休業に伴う長期貸出について

下記のとおり長期貸出をしますので、ご利用ください。

対 象	院生・教職員	学部生
貸出期間	7月9日(木)～9月5日(土)	7月23日(木)～9月19日(土)
貸出冊数	10冊	5冊
返却期日	10月5日(月)	

- * 卒業予定者の返却期限は9月10日(木)です。
- * 視聴覚資料は除きます。
- * 長期貸出図書については、貸出の延長はできません。一度返却してから翌日以降貸出の手続きをとってください。
- * 一般利用者の方の長期貸出はできません。



ちょっとブレイク
8月の言葉

～ 藤村忌 ～

「とうそんき」と読み、明治・大正・昭和を生きた浪漫派の作家・島崎藤村の命日である8月22日を指す言葉。代表作は、詩集『若菜集』、小説『破戒』など。雑誌『文学界』の創刊にも関わった。

暑い夏、こんな言葉をきっかけに島崎藤村の作品を読み始めてみる、なんてのはどうですか？

キーワード:

今すぐOPACを検索！

蔵書検索 OPAC はこちらから <http://tosh02.kyokyo-u.ac.jp/>

京都教育大学附属図書館ホームページはこちらから <http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

京教図書館 News No. 107 2009年8月号
編集発行：京都教育大学附属図書館
発行日：平成21年8月3日
内容に関するお問い合わせ先：
附属図書館（内線8179）



京都教育大学